



Copyright © 2015 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
- 3. 概要
 - 3.1. サイトツア－とは
 - 3.2. 仕様
 - 3.3. 注意事項
- 4. 開発標準・サイトツア－規約
 - 4.1. サイトツア－のメッセージを記載する観点
 - 4.2. サイトツア－の種類
 - 4.3. サイトツア－のメッセージに対する注意点
- 5. サイトツア－の利用方法
 - 5.1. 利用できる属性
 - 5.2. ヘルプドロップダウンからサイトツア－を利用する方法
 - 5.3. テーマを使わずにサイトツア－を呼び出す方法
 - 5.4. ダイアログ内でサイトツア－を利用する
- 6. ヘルプドロップダウンの設定
 - 6.1. 認可を設定する
 - 6.2. メニューの内容を変更する

改訂情報

変更年月日　変更内容

2015-04-01 初版

はじめに

本書の目的

本書では intra-mart Accel Platform で提供するサイトツアーアイテムの仕様と、そのプログラミング方法や注意点について説明します。

対象読者

本書は次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform 上でサイトツアーアイテムを利用する開発者
- intra-mart Accel Platform 上でサイトツアーアイテムを利用する管理者

本書の構成

本書は以下の構成となっています。

- [概要](#)
サイトツアーアイテムの仕様、注意事項について説明します。
- [開発標準・サイトツアーアイテム規約](#)
サイトツアーアイテムの開発標準、規約について説明します。
- [サイトツアーアイテムの利用方法](#)
サイトツアーアイテムを利用したプログラミング方法について説明します。
- [ヘルプドロップダウンの設定](#)
テーマに組み込まれているヘルプドロップダウンについて説明します。

項目

- [概要](#)
 - [サイトツアーアイテムとは](#)
 - [サイトツアーアイテムの種類](#)
 - [ホームURL初回アクセス時の動作について](#)
 - [仕様](#)
 - [注意事項](#)

概要

サイトツア－とは

サイトツア－とは画面内に簡易ヘルプを表示する機能です。

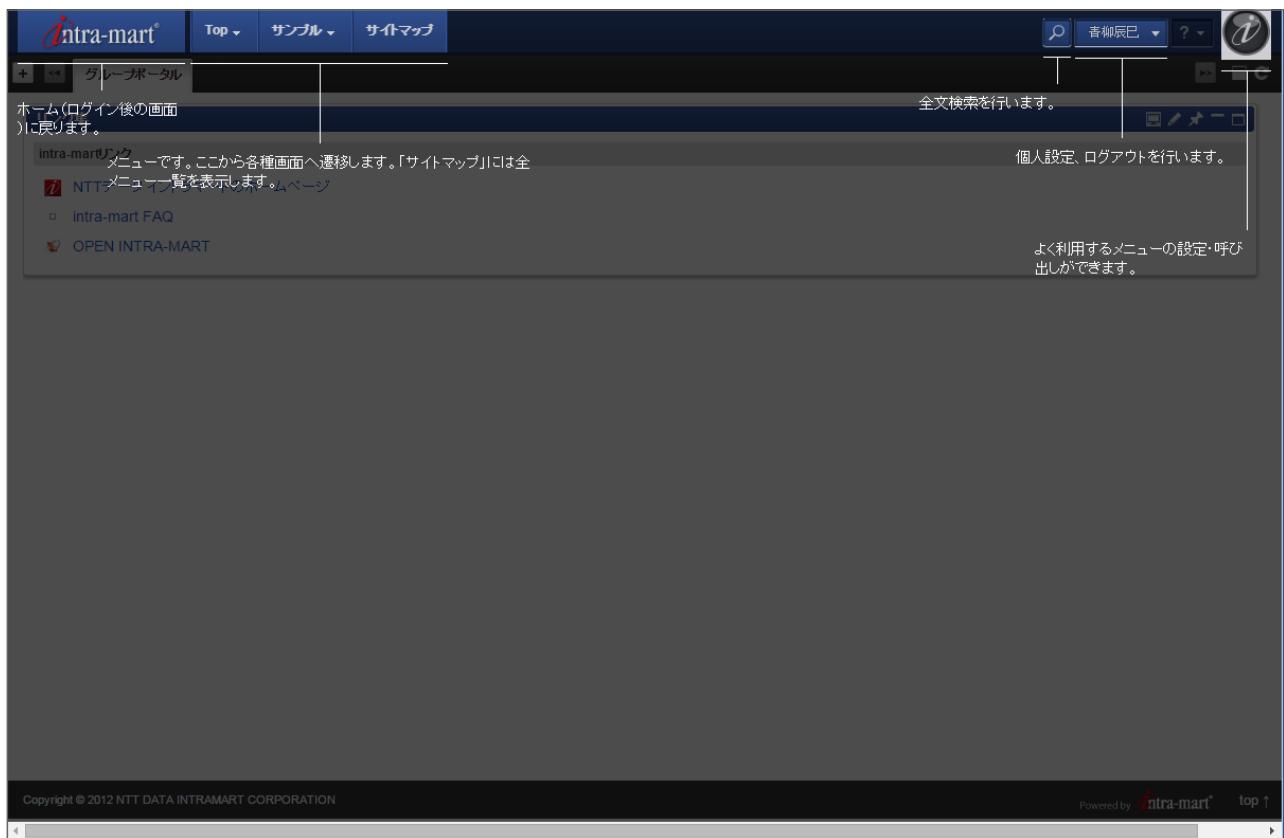
intra-mart Accel Platform で提供するテーマに埋め込まれている、ヘルプドロップダウンから呼び出すことができます。

[クライアントサイド JavaScript](#) も提供しているため、テーマの適用されていない画面でも独自に呼び出すことができます。

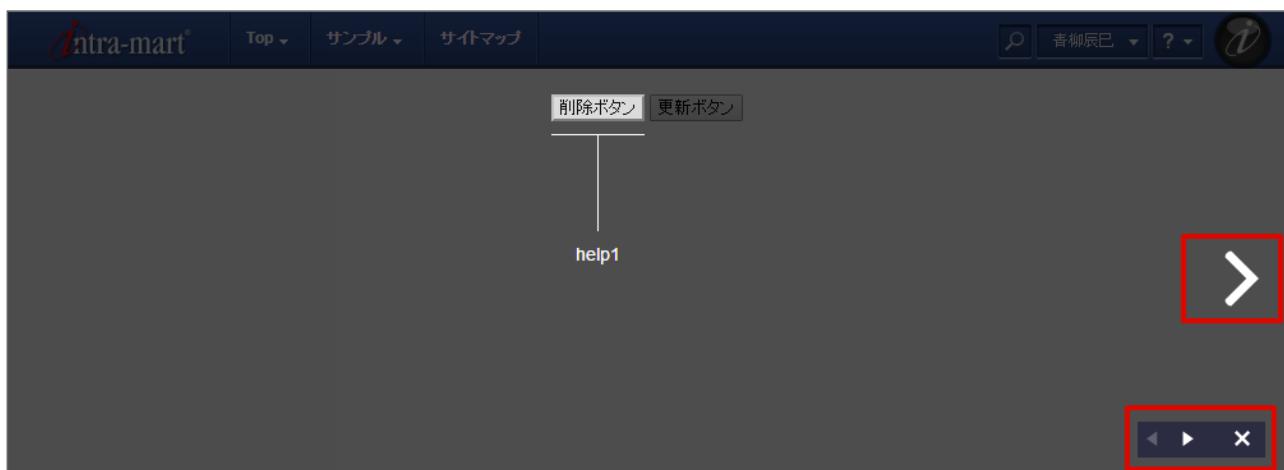
サイトツア－の種類

サイトツア－は画面内にある説明を同時に表示する一括表示と、順を追って説明を表示するステップ表示の二種類があります。

- 一括表示
 - 手順ではなく、画面内の項目を説明する場合



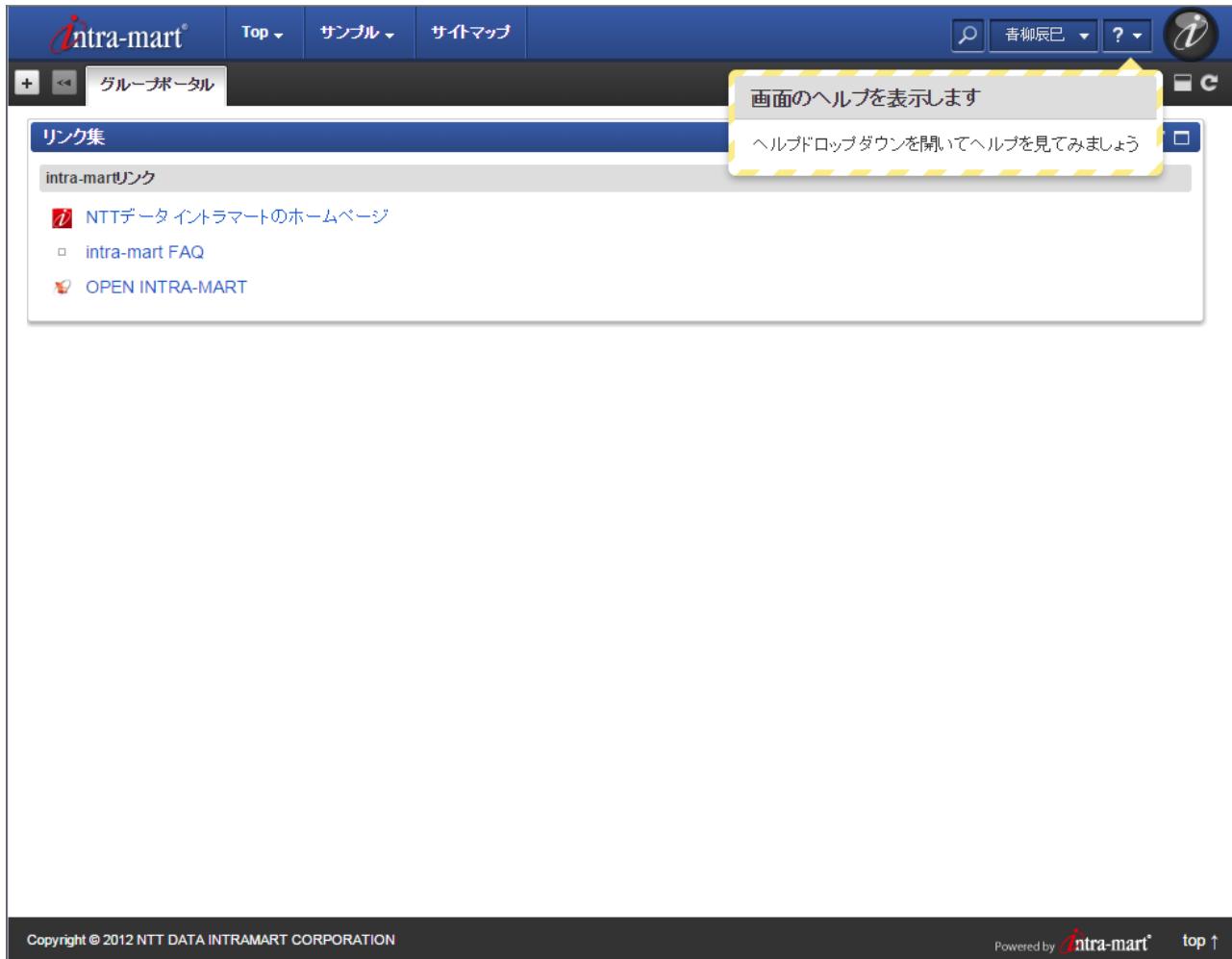
- ステップ表示
 - 説明する項目が多い場合
 - 手順を追って説明をする場合



- 上記の枠線の部分でステップの操作が行えます。

ホームURL初回アクセス時の動作について

ホームURLに登録されているURLに初めてアクセスしたとき、ヘルプドロップダウンの利用を促すメッセージが表示されます。



i コラム

ホームURLに指定した画面にヘルプが埋め込まれていない場合でも、このメッセージは表示されます。

i コラム

もう一度メッセージを表示したい場合は、ブラウザのクッキーを削除する必要があります。

仕様

- テーマが適用されている画面で利用することができます。
- 表示している画面内にヘルプ埋め込まれている場合に、ヘルプを呼び出すメニューが活性になります。
- ヘルプが埋め込まれていない、またはヘルプを指定している要素が非表示の場合は、ヘルプを呼び出すメニューが非活性になり、クリックすることができません。
- 画面にヘルプが埋め込まれているかどうかは、ヘルプドロップダウンにマウスを乗せるたびに確認しています。
 - そのため、初期表示時にはヘルプがなく、あとからヘルプを追加した場合でも、ヘルプを呼び出すことができます。
- サイトツア－の種類がステップ表示だった場合、右下にステップを操作するメニューが表示されます。
 - キーボード操作でも前後のステップに移動することができます。
- ダイアログ内でサイトツア－を呼び出したい場合は、特定のオプションを指定することで、ダイアログの閉じるアイコンの隣にサイトツア－を呼び出すアイコンが表示されます。
 - 詳細は後述の「[ダイアログ内でサイトツア－を利用する](#)」を参照してください。

注意事項

- フレームをまたがった説明はできません。
- 画面に複数のヘルプを同時に表示する際には、それぞれのヘルプの表示位置が重ならないように調整してください。

- そのため、複数の言語に対応する場合はそれぞれの言語で表示されることを想定した位置にヘルプを表示するように注意してください。
- 國際化対応は呼び出し側で行ってください。
 - imart type="message" や imart type="string" を利用し、プロパティファイルから取得した文字列を表示するようにしてください。
- その他の制限事項についてはリリースノートに記載されています。必ず制限事項を確認してください。

項目

- 開発標準・サイトツア－規約
 - サイトツア－のメッセージを記載する観点
 - サイトツア－の種類
 - 各要素に補足説明をする
 - 手順を示す
 - 機能ごとに説明する
 - サイトツア－のメッセージに対する注意点
 - 指針
 - 書き方
 - メッセージの保管場所

開発標準・サイトツアーアイテム規約

ここでは、intra-mart Accel Platform でのサイトツアーアイテムについての開発標準を記載します。

サイトツアーアイテムのメッセージを記載する観点

intra-mart Accel Platform では、以下の観点を基にサイトツアーアイテムを実装しています。

- ボタンやアイコン画像等にあるイベントの説明
- 複雑な操作画面に対する操作説明
- 特定の条件下のみ利用できる機能の説明
- 画面上からはわからないキーボード操作



intra-mart Accel Platform のすべての画面にサイトツアーアイテムが実装されているわけではありません。
必要に応じて徐々にサイトツアーアイテムを実装していく予定です。

サイトツアーアイテムの種類

intra-mart Accel Platform ではサイトツアーアイテムを以下のように分類しています。

各要素に補足説明をする

- ボタンやアイコン画像など、直感的に操作しづらい要素に説明を追加したい場合です。
 - 一括表示を使います。
 - ボタンのラベルだけでは、どうなるのかが判断できない場合などに補足説明を記載します。
 - アイコン画像にクリックイベントが仕込まれている場合など、機能説明を記載します。

手順を示す

- 初めて画面を操作するユーザを対象にした手順を示したい場合です。
 - ステップ表示を使います。
 - 初めて操作するような画面において、どのような操作をすればよいかを促すものです。
 - 最低限の情報以外となるような画面項目の説明などは、仕様書などの別ドキュメントに記載します。
 - この手順がないと先に進めないというような最低限の情報をサイトツアーアイテムとして表示します。

機能ごとに説明する

- 画面内に説明したい要素が多く、ある程度のグループ毎に説明したい場合です。
 - ステップ表示を使います。
 - ヘッダー部分だけを一括で説明したあとに、左ペインだけを一括で説明したい場合などにグループに分けて説明を記載します。

サイトツアーアイテムのメッセージに対する注意点

サイトツアーアイテムのメッセージを実装する際の注意点は以下になります。

指針

- ドキュメントで補っている内容や、ユーザビリティが高く説明が不必要な画面には説明を記載しないでください。
- 細かい仕様についての記載など、説明量が多くなる内容は記載しないでください。
 - 画面内にたくさん情報があると、逆に分かりづらさが際立ってしまうためです。

書き方

- 受動態を使わず、能動態で記載します。

- 可能な限り短文で記載します。
 - 英語や中国語などを考慮し、長文にならないようにしてください。
- 敬体で記載します。

メッセージの保管場所

- 通常画面の実装と同様に、メッセージプロパティとして設定します。
 - 多言語分を必ず設定するようにしてください。

項目

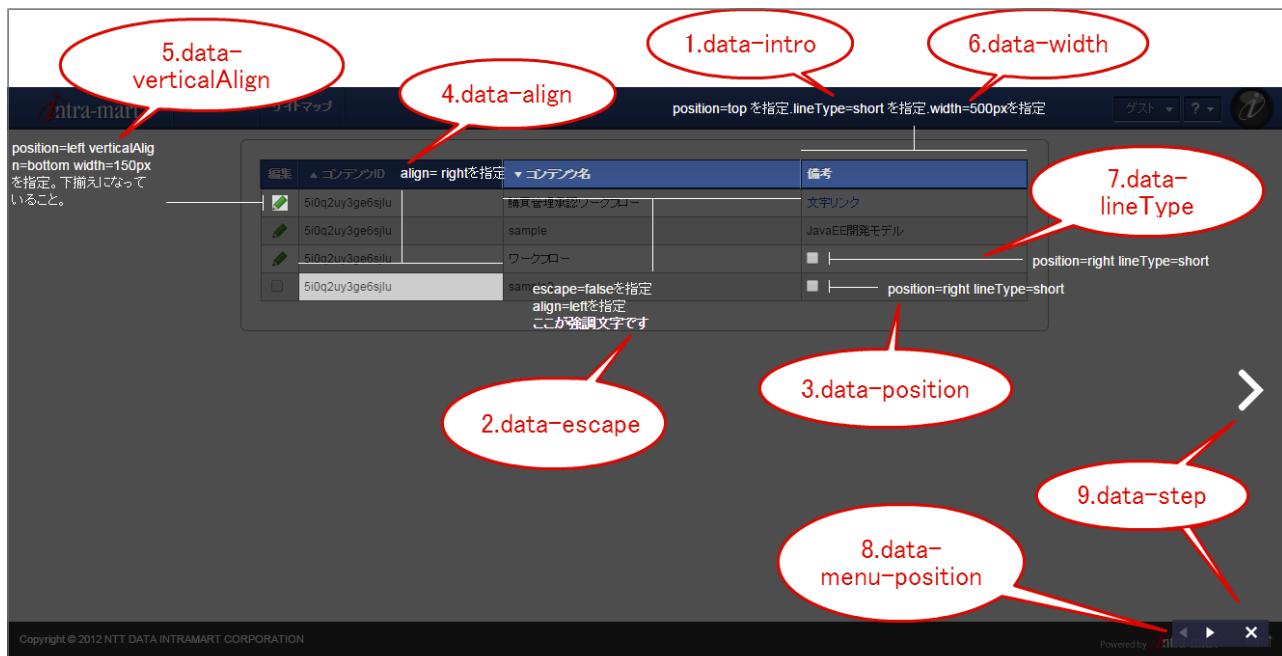
- サイトツア－の利用方法
 - 利用できる属性
 - ヘルプドロップダウンからサイトツア－を利用する方法
 - サンプルプログラム（全表示）
 - サンプルプログラム（ステップ機能）
 - テーマを使わずにサイトツア－を呼び出す方法
 - サンプルプログラム
 - ダイアログ内でサイトツア－を利用する
 - サンプルプログラム

サイトツア－の利用方法

利用できる属性

以下の属性を指定することができます。

No	属性名	省略時の値	説明
1	data-intro	必須項目	ヘルプとして実際に表示される説明文です。
2	data-escape	true	data-intro に指定した文字列をエスケープするかどうかを指定します。 エスケープをしない場合は HTML を埋め込むことができます。
3	data-position	bottom	ヘルプを表示する対象の要素から、どこの位置に説明文を表示するか指定します。 省略すると対象の要素の下に説明文が表示されます。 right,left,top,bottom の指定が可能です。
4	data-align	center	data-position に top,bottom のどちらかを指定した場合のみ有効です。 説明文の横方向の表示位置を指定します。 left (左寄せ) ,center (中央寄せ) ,right (右寄せ) の指定が可能です。
5	data-verticalAlign	top	data-position に left,right のどちらかを指定した場合のみ有効です。 説明文の縦方向の揃え位置を指定します。 top (上揃え) ,middle (中央揃え) ,bottom (下揃え) の指定が可能です。
6	data-width	200px	説明文を表示する要素の横幅を指定します。 未指定の場合は200pxですが、ヘルプを表示する対象の要素が200px未満の場合は、対象の要素の長さの横幅です。
7	data-lineType	middle	ヘルプを表示する対象の要素と説明文表を結んでいる支持線の長さの種類を指定します。 short,middle,long の指定が可能です。 position に指定した値が top,bottom の場合は <ul style="list-style-type: none"> ▪ short (25px) ,middle (75px) ,long(150px)の長さです。 position に指定した値が left,right の場合は <ul style="list-style-type: none"> ▪ short (50px) ,middle (100px) ,long (200px)の長さです。
8	data-menu-position	right	ステップメニューの表示位置を指定します。 right,left の指定が可能です。 同じステップ内で別々の指定をした場合は、最初に指定した値が有効です。
9	data-step	全表示	説明を表示する順番を数値で指定します。 同じ数値を指定した場合は、複数個の説明が同時に表示されるのでグループ化としても利用できます。 未指定の要素は最後に表示されます。



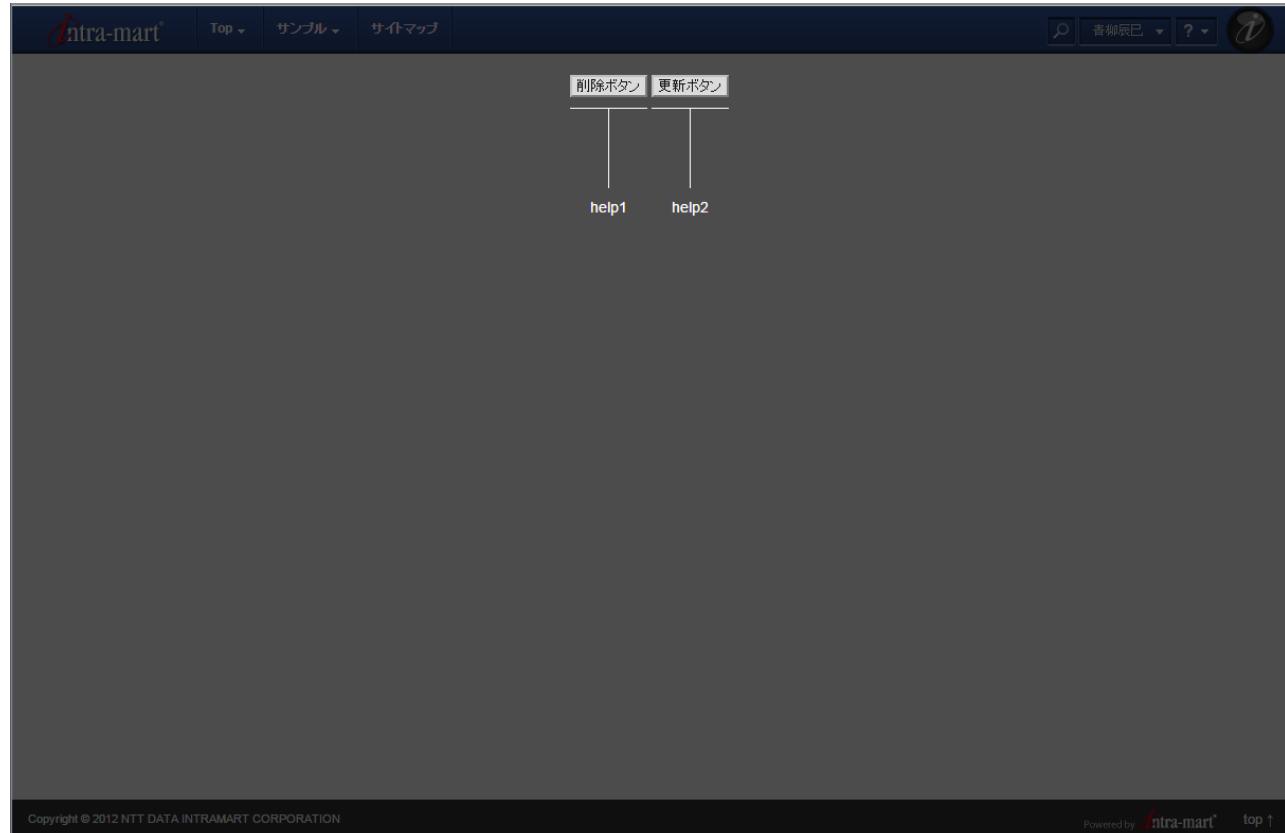
intra-mart Accel Platform 上に新たに画面を作成し、そこにヘルプを埋め込む場合、テーマを適用している画面であれば、特定の属性を記述するだけでヘルプドロップダウンからサイトツアーを利用することができます。

サンプルプログラム（全表示）

上記の属性一覧から data-intro 属性のみの指定でヘルプを呼び出すことができます。

```
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2">更新ボタン</button>
</div>
```

以下のようにヘルプが表示されます。

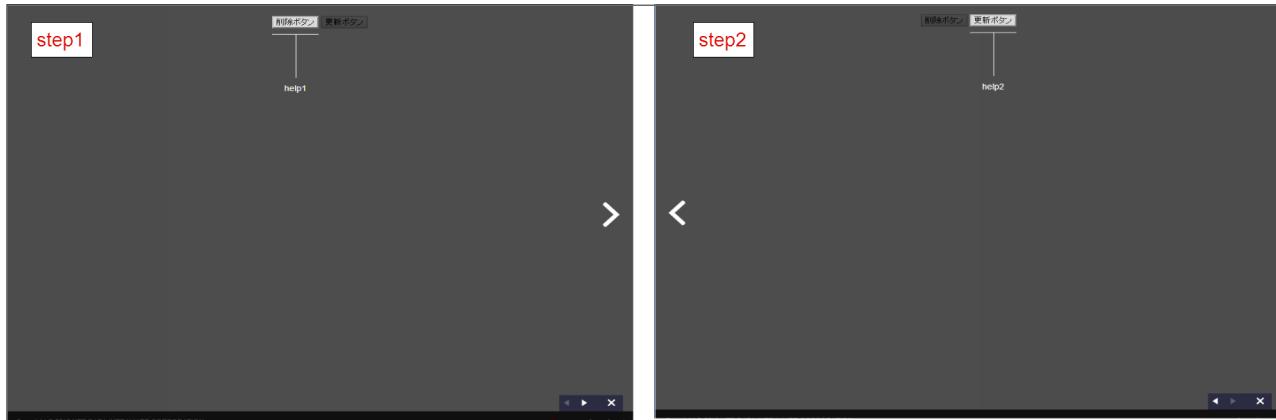


サンプルプログラム（ステップ機能）

上記の属性一覧から data-step 属性を追加で指定することでステップ機能付きのヘルプを呼び出すことができます。

```
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1" data-step="1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2" data-step="2">更新ボタン</button>
</div>
```

以下のようにヘルプが表示されます。



テーマを使わずにサイトツア－を呼び出す方法

ヘルプドロップダウンが表示されていない画面や、テーマが適用されていない画面などでは、独自に作成した要素からサイトツア－を呼び出すことも可能です。

コラム

サイトツア－の呼び出しは クライアントサイド JavaScript を実行します。
クライアントサイド JavaScript の詳細は、 [imuiSiteTour](#) を参照してください。

注意

ここでの「テーマが適用されていない画面」とはヘッダーが表示されていない画面を指しています。
テーマが表示する head は必ず読み込んでください。
[PageBuilder で実装可能な画面レイアウトの種類](#) を参考に、 head タグが出力される [PageBuilder](#) を利用してください。

サンプルプログラム

セレクターに指定した要素内のヘルプのみ表示されます。

```
<!-- このボタンをクリックするとサイトツア－を呼び出します -->
<button id="start_help">start</button>
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2">更新ボタン</button>
</div>
<a data-intro="このヘルプは表示されません">sample_a</a>

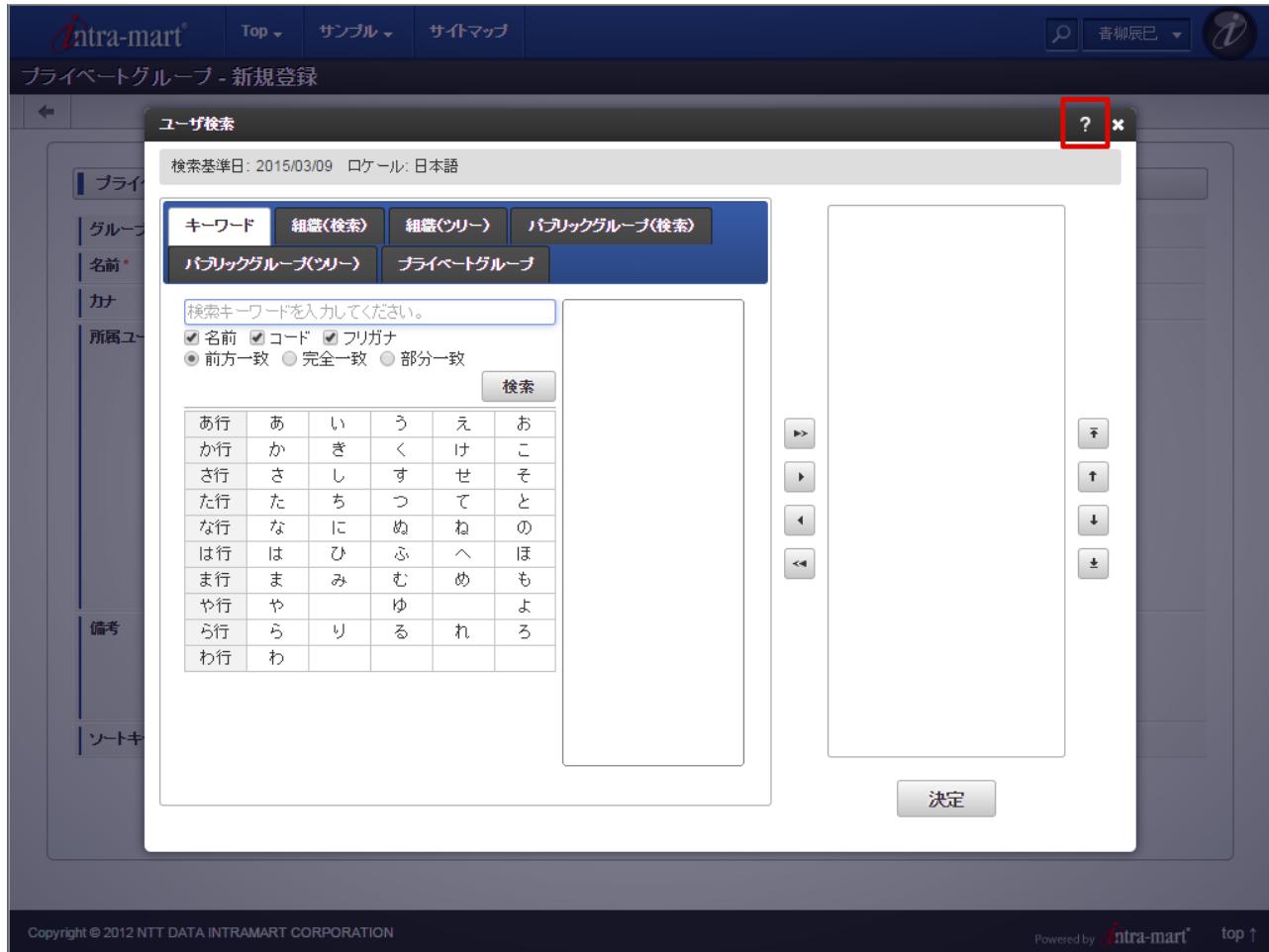
<script>
$(function(){
  $('#start_help').on('click',function(){
    // class="imui-operation-parts" 内の data-intro 属性を持つ要素のみヘルプ対象です。
    $('.imui-operation-parts').imuiSiteTour();
  })
})
</script>
```

ダイアログ内でサイトツア－を利用する

imuiDialog に useHelp 属性を指定することで、サイトツア－を呼び出すアイコンが表示されます。

コラム

useHelp の詳細やダイアログの詳細については [imuiDialog](#) を参照してください。



Copyright © 2012 NTT DATA INTRAMART CORPORATION

Powered by top ↑

上記の画像の赤枠の「？」アイコンをクリックすることでサイトツア－の呼び出しが行えます。

サンプルプログラム

ヘルプドロップダウンの表示・非表示はメニューグループカテゴリの認可の状態で判断しています。

ダイアログに表示されるヘルプアイコンも、ヘルプドロップダウンの認可状態と同様に表示したい場合は、以下のような実装を行ってください。

コラム

ヘルプメニューのメニューグループカテゴリIDは「im_site_help_pc」です。

サイトツア－を実行するメニューグループIDは「start_help_pc」です。

上記を利用して、認可の状態を判断してください。

- sample.js

```
var $useHelp;

function init(){
    var manager = new MenuGroupManager();
    // 必要なメニューグループIDは start_help_pc
    var menuld = "start_help_pc";
    // ヘルプメニューのメニューグループカテゴリは im_site_help_pc
    var menulds = manager.getAvailableMenuGroupIds("im_site_help_pc");
    for (var index = 0; index < menulds.data.length; index++) {
        if (menulds.data[index] == menuld) {
            $useHelp = true;
        }
    }
}
```

- sample.html

```
<imart type="imuiDialog" useHelp=$useHelp >
<div class="imui-operation-parts">
  <button data-intro="help1">削除ボタン</button>
  <button data-intro="help2">更新ボタン</button>
</div>
</imart>
```

項目

- ヘルプドロップダウンの設定
 - 認可を設定する
 - メニューの内容を変更する

ヘルプドロップダウンの設定

ここではヘルプドロップダウンの表示・非表示方法とヘルプドロップダウンに表示しているメニューを編集する方法について記載します。

認可を設定する

ヘルプドロップダウンは認可の設定で表示・非表示を設定することができます。

以下にその手順を記載します。

1. グローバルナビから「テナント管理」→「認可」をクリックします。
2. 「リソースの種類」セレクトボックスから「メニュー設定」を選択します。

リソース	ダッシュボード	認証済みユーザ	サンプル会社	その他会社	テナント管理者	認可管理者	メニュー運用管理者	アカウント管理者	ロール管理者	カレンダーアクセス管理者	ジョブスケジューラ管理者	IM共通マスター管理者	IM共通マスター運営管理者	ポータル管理者	
画面・処理	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
intra-mart Accel Platform	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
welcome-all マッパー	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
IM-ContentSearch	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
認可	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
認可設定 (基本画面)	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
認可設定 (ポータル用)	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
認可設定 (Ajax用)	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
カレンダー	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
カレンダー一覧	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
カレンダーマージ設定	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
カレンダーマージ	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
FileExchange	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
FileExchange 管理者	実行	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

3. 「権限設定を開始する」ボタンをクリックします。

リソース	アクション	ダッシュボード	認証済みユーザ	サンプル会社	その他会社	テナント管理者	認可管理者	メニュー運用管理者	アカウント管理者	ロール管理者	カレンダーアクセス管理者	ジョブスケジューラ管理者	IM共通マスター管理者	IM共通マスター運営管理者	ポータル管理者
メニューグループ	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
グローバルナビ(PC用)	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
Top	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
テナント管理	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サンプル	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
グローバルナビ(スマートフォン用)	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
IMBox	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
ViewCreator	管理	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X

4. リソースグループ名「サイトヘルプ」配下のメニューグループに、それぞれ認可を設定することができます。
ここでは、認証済みユーザの参照に禁止を指定します。

This screenshot shows the 'menu_group' configuration screen. The main area displays a grid of menu items categorized under 'サイトヘルプ'. One specific item, 'ヘルプを表示する', is highlighted with a red box and contains a large red 'X', indicating it is disabled or not applicable.

5. ホーム画面に遷移すると、ヘルプドロップダウンが非表示になっていることが確認できます。

This screenshot shows the home page of the intra-mart Accel Platform. The 'ヘルプ' dropdown menu is visible but appears to be empty, likely because the configuration in the previous screenshot has disabled its display.



コラム

認可についての詳細は [認可を設定する](#) を参照してください。

メニューの内容を変更する

ヘルプドロップダウンに表示する内容を変更する場合は、「サイトヘルプ」メニューグループカテゴリに登録されているメニューアイテムを変更します。

以下にその手順を記載します。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「テナント情報」→「サイトヘルプメニュー設定」をクリックします。

The screenshot shows the 'Site Map' (サイトマップ) page. The left sidebar contains categories like 'FileExchange', 'Portal', 'Tenant Management', and 'Table Maintenance'. The main area shows a tree structure with nodes such as 'IMBox' (IMボックス), 'ContentsSearch' (コンテンツ検索), 'TableMaintenance' (テーブル維持), 'ViewCreator' (ビューカラム作成), 'CommonMaster' (共通マスター), 'PersonalSetting' (個人設定), 'Sample' (サンプル), and 'ScriptDevelopmentModel' (スクリプト開発モデル). A red box highlights the 'サイトヘルプ' (Site Help) node under the 'メニュー' (Menu) category.

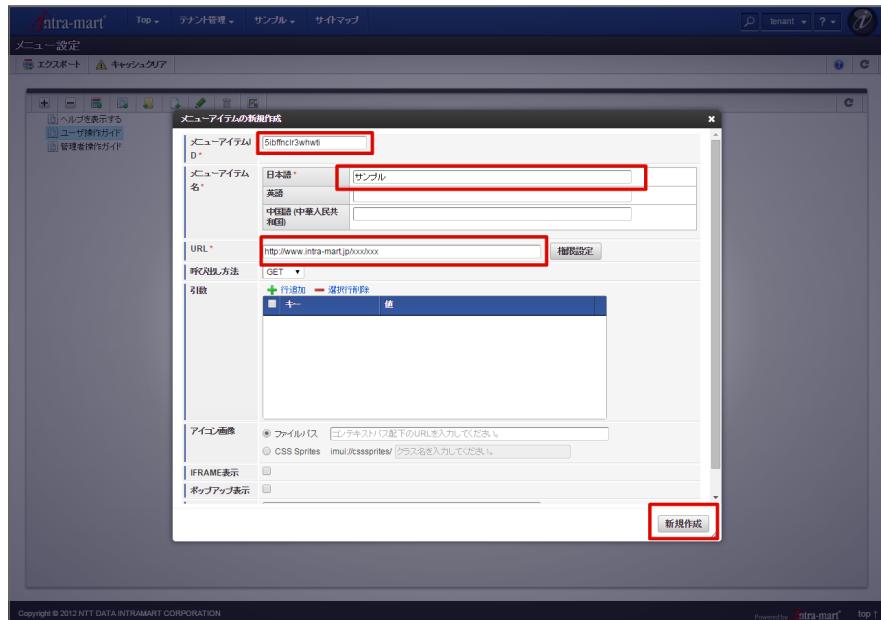


「サイトマップ」→「テナント管理」→「メニュー」からでは「サイトヘルプ」メニューグループカテゴリを選択できません。サイトマップから選択してください。

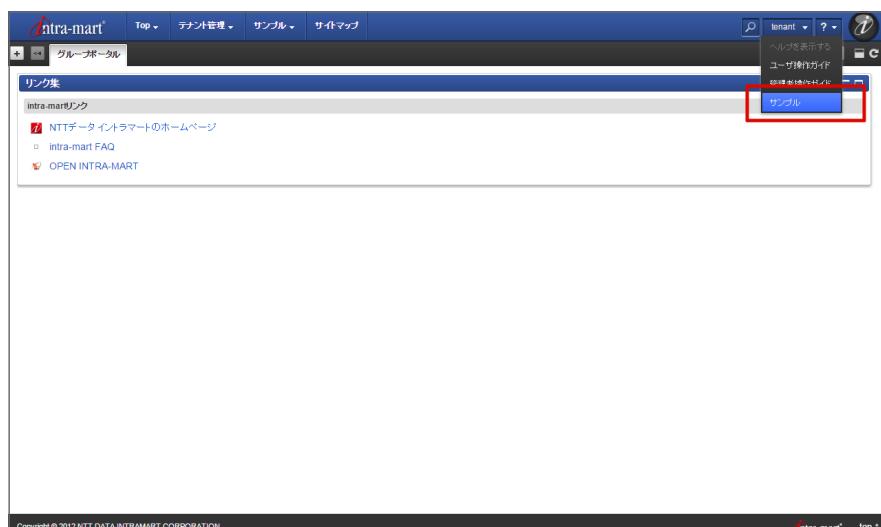
1. 「サイトヘルプ」メニューグループカテゴリのメニュー設定画面が表示されます。
「トップ階層にメニューアイテムを新規作成」アイコンをクリックします。

The screenshot shows the 'Menu Setting' (メニュー設定) screen. The top navigation bar includes 'エクスポート' and 'キャッシュクリア' buttons. The main content area features a toolbar with various icons, one of which is highlighted with a red box. A tooltip for this icon indicates: 'ヘルプを表示する ツップ階層にメニューアイテムを新規作成' (Display help, Create new menu item at the top level).

2. 「メニューアイテムの新規作成」ダイアログが表示されます。
必須項目を入力し、「新規作成」ボタンをクリックします。



3. ホーム画面に遷移し、ヘルプドロップダウンを開くと先ほど追加したメニュー項目が表示されていることが確認できます。



コラム

メニュー画面の操作についての詳細は [メニューを設定する](#) を参照してください。



注意

ヘルプドロップダウンのメニュー編集は操作が制限されています。

以下に注意してください。

1. メニューを追加する場合は、トップ階層にメニュー項目を新規作成してください。
メニューグループやメニュー階層を追加しても反映されません。
2. 反映される設定は、「メニュー項目ID」「メニュー項目名」「URL」「ポップアップ表示」だけです。他の設定は、入力しても反映されません。
3. 「ヘルプを表示する」アイテムは、既存の設定を変更しないでください。
特に「メニュー項目ID」を変更すると、簡易ヘルプ機能が動作しなくなるので注意してください。
「URL」「ポップアップ表示」は、設定しても反映されません。

